



発 言 通 告 書

令和 5年 2月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 佐 宗 龍 俊

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---------------------------------------|--|----|-------|--|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月24日 | <input checked="" type="checkbox"/> 午前 / 午後 9時4分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 | 令和5年度予算大綱説明について (総務消防分野) | | | |
| | (1) 人口減少と少子高齢化の現実には負けないまちの実現に向けた取組について | | | |
| | ア 移住定住促進の取組について | | | |
| | <p>「都市部から地方への移住や転職を希望される方をしっかり受け入れることができるよう、本年2月から移住・定住ポータルサイトを開設し、運用をしながら改善を図っていく。」とあるが、どんなにPRして移住者を募り、希望者が現れても、すぐに入居できる住居がなければ移住は実現できない。現状でも、移住希望者がいるにもかかわらず、住居が見つからずに移住が実現できない事例が何件もあると聞く。本市に移住してもらうためのPR施策も必要であるが、移住希望者がすぐに入居できる住居を用意しておくことが非常に重要であると考えているが、見解を伺う。</p> | | | |
| | イ つながる市民(ひと)との交流促進について | | | |
| | <p>「地域づくりにかかわる人々(関係人口)を、つながる市民(ひと)と位置付け、つながる市民(ひと)との交流促進をまちづくりの力につなげていくこと、を旨とし、地域づくりの担い手としてのつながる市民(ひと)の創出をまちの力にしていく取組に力を入れる。」とあるが、具体的な取組内容を伺う。</p> | | | |
| | ウ 産学官連携推進の取組について | | | |
| | <p>「人口減少先進地である本市の持続可能な地域づくりに向け、産学官連携強化による取組の更なる推進が必要であり、市民生活にかかわる様々な分野を包含する「医療、健康、ライフスタイル等に係る包括連携協定」を昨年末に新たに締結し、この協定を主軸に、研究機関・企業が持つ知見や技術等を取り入れ、地域課題の解決のみならず、総合計画の推進やマニフェストの実</p> | | | |

現にも取り組んでいく。」とあるが、具体的な取組内容を伺う。

(2) 地域自治区制度について

「地域自ら地域計画を継続的に推進していく体制づくりについて、地域自治区ごとに検討を行う。」とあり、令和4年度予算大綱説明と同じ内容であるが、体制づくりが進んでいないということか。これまでの取組と進捗状況及び次年度の具体的目標を伺う。

(3) 公共交通網の整備について

ア 新都市地域公共交通計画について

「市民の日常生活を支える公共交通網の整備では、『地域公共交通計画』に基づき、地域の特性に合わせた公共交通へと再構築を図る。」とある。公共交通計画では、「5. 新都市地域公共交通に関するルール」として、新都市地域共創型公共交通システム“①公共交通の現状と課題の共有”から“⑥継続的な活動”までのフローが示されているが、システム構築における地域ごとの進捗状況と次年度の具体的目標を伺う。

イ 高速バス運行事業について

令和4年度予算大綱説明では、「利用実態調査分析業務を実施し、利用実績、乗降調査結果などから総合的に判断し、今後の方針を決定する。」とあったが、どのような調査分析結果から運行継続の判断をしたのか。また、次年度の展望と目標を伺う。

(4) 人材確保・育成について

「より資質の優れた職員を確保できるような試験制度を確立するとともに「市民価値を高めることのできる職員」を育成するため、各種の職員研修を実施する。」とあるが、どのような試験制度を目指し、どのような職員研修を実施するのか伺う。

(5) 自治体DXの推進について

「令和4年度に引き続き、専門的な知見を有する外部アドバイザーを招へいするとともに、既存業務の調査分析結果からデジタル化による業務改善などの改善施策の具体的検討を行う。」とあるが、これまでの取組と進捗状況及び次年度の具体的目標を伺う。



発 言 通 告 書

令和 5 年 2 月 2 7 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 浅 尾 洋 平

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---------------------------------------|---|----|-----------|------------------|
| 所要時間 | 6 0 分 | 受付 | 2 月 2 7 日 | 午前 / 午後 9 時 // 分 |
| 発言の種類 | 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 | 令和 5 年度予算大綱説明について (厚生文教分野) | | | |
| | (1) 「人口減少と少子高齢化の現実に負けないまち」の実現について | | | |
| | ア 2014年新城市は県内唯一の消滅可能性都市と認定された。日本創生会議によると、「2040年には半数の自治体で20～30代の女性が半分以下に減る」と明らかにした。新城市では、2028年の新一年生は183人となる。将来、市内の小中学生は、単純計算で、2千人を大きく割り込む。人口減少は深刻である。2040年には、人口3万2千人、高齢化率は50%近くになっていく。こうした将来の人口予測から見える市の運営に起こりえる弊害や問題はどのような想定をされているのか伺う。 | | | |
| | イ 大綱には、「原材料費高騰、物価高、円安などの影響が市民の暮らしや経済活動を直撃しており、この状況はしばらく続くもの」と書かれているが、市民を取り巻く生活の現状を下江市長は、市民の生活や経営が「苦境」にある、「支援しなければならない」と認識しているのか、伺う。 | | | |
| | ウ 大綱には、「今後も若い世代を含めた人口減少に常に向き合いながら、これまで以上に若者や子育て世代に本市を選んでもらえる環境整備に全力を挙げてまいります」とあるが、下江市長はどのような具体的施策で、若者や子育て世代に新城市を選んでもらえる「環境整備」をするのか、伺う。 | | | |
| | エ 豊橋市は、小中学校の給食費無償化と18歳までの医療費の完全無料化を提案している。子育て応援のアピールが明確な豊橋市を見習い、新城市も、小中学校の給食費無償化、18歳までの医療費完全無料化を検討するべきではないか。市の認識を伺う。 | | | |
| | (2) 新城市民病院と東三河北部医療圏の充実について | | | |
| | ア 新城市民病院の医師不足と産科の現状、今後の対策を伺う。 | | | |
| | イ 東三河北部医療圏で果たす役割について伺う。 | | | |
| | ウ 今後も東三河北部医療圏の存続を愛知県に要望していくのか認識を伺う。 | | | |

代 2 (2 / 2)

- エ 市は、新城市民病院の医師の研究活動をどのように支援しているのか伺う。
- (3) 学校給食共同調理場の建設について
- ア 学校給食共同調理場建設事業の進捗状況と総事業費、内訳を伺う。
- イ 学校給食共同調理場の供用開始日である令和6年9月、市内17校すべての小中学校の受け入れ施設は完成するのか伺う。又、学校の受け入れ施設が完成しない場合、給食の提供はどうなるのか、各校の対応を伺う。
- ウ 国が求める学校給食の衛生管理の内容を伺う。
- エ 新城市の令和10年の新1年生は183人である。単純計算で、小中の全児童・生徒は1,650人に近づき、職員数を含めても2,000人を割ると考えられる。下江市長は、1日3,500食分を提供する学校給食共同調理場事業を約50億円(調理配送の民間委託費用含める)かけて進めているが、立ち止まって、中止や再検討する考えはないか、伺う。
- (4) 学校トイレの洋式化の完全実現に向けて、進捗状況などを伺う。
- (5) こども園再編・整備計画の状況と策定完了の時期を伺う。
- (6) 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の悪臭問題と環境対策について
- ア 悪臭対策・住民への情報提供・苦情対応について、市の認識を伺う。
- イ ハエの大量発生で困っているとの苦情があるが市の対応と認識を伺う。
- (7) 各種の予防接種(おたふく、インフルエンザ、带状疱疹ワクチン、ロタウイルスなど)を推進する補助施策について伺う。
- (8) 地域猫活動について
- ア 市の「地域猫活動」に対する認識を伺う。
- イ 「地域猫」の不妊去勢手術の助成金制度を創設する考えはあるか、伺う。
- (9) 高齢者支援策としての「Sバス」無料券、また、大学生等への奨学金制度の実現について進捗状況と実現のための事業費用金額の想定を伺う。
- (10) 市職員の時間外勤務の状況と認識について伺う。

代 3 (1/2)



発 言 通 告 書

令和5年2月27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 齊 藤 竜 也

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---|---------------------|----|-------|-------------|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月27日 | 午前/午後 9時48分 |
| 発言の種類 | 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 令和5年度予算大綱説明について (経済建設分野) | | | | |
| (1) 道路網の整備について | | | | |
| ア 豊橋新城スマートインターチェンジ (仮称) の早期供用開始に向けた事業の進捗は。 | | | | |
| イ 八名地域周辺の賑わいの創出についてどのような計画、進捗となっているか。 | | | | |
| ウ 生活道路の改良、舗装、側溝整備、交通安全施設整備の計画は。 | | | | |
| エ 橋りょう長寿命化対策の積極的な取り組みとして建築後何年くらいの橋りょうが長寿命化対策の対象となるのか。 | | | | |
| (2) 防災対策について | | | | |
| 緊急浚渫推進事業が必要とされる4河川の河川名と、氾濫が予想される現在の整備計画は。 | | | | |
| (3) 農業について | | | | |
| ア 鳥獣被害による農業生産活動を困難としている農業種別は。 | | | | |
| イ 施設園芸でない既存農業従事者への支援は。 | | | | |
| ウ 農業生産活動の支援を行う「中山間地域等直接支払事業」、農村環境の保全のための「多面的機能支払交付金事業」これら2事業の継続とあるが、施策の活用状況及び現状における課題は。 | | | | |
| (4) 林業について | | | | |
| 森林経営管理制度に基づく計画の進捗状況と、林業従事者の確保育成と定着に対するこれまでの取り組みと計画は。 | | | | |

代 3 (2/2)

(5) 地域産業の振興について

- ア 市内企業の認知度を高めるために開催される企業説明会等のターゲットはどこを想定しているか。
- イ 令和元年に取得した浅谷地内の土地について、企業用地として整備を図るとあるが、基本計画と実施設計の進捗は。
- ウ 雇用創出、企業誘致以外の、既存地元産業の振興を図る施策は。

(6) 観光振興について

- ア 大河ドラマ「どうする家康」を活用した施策とはどのようなものか。
- イ 「新城ツーリズムの開拓」の具体的な成果は。
- ウ 長篠・設楽原の戦い450周年を起爆剤とした施策とは具体的にどのようなものを想定しているか。

(7) スポーツツーリズムの推進について

- ア 本市に潜在する資源とは、具体的に何を指すのか。また観光の融合とはどのようなイメージなのか。
- イ 自転車ロードレースの開催について具体的にどういった取り組みをしているのか。

(8) 上下水道事業について

- ア 水道料金の段階的な値上げの経緯は。
- イ 今後の水道事業経営の見通し、また計画は。

(9) 市街地の整備について

- ア 新城市立地適正化計画の策定状況と地籍調査等の成果は。
- イ 令和5年度に実施すべき事業は。

1(1/2)



発 言 通 告 書

令和 5年 2月 20日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山 口 洋 一

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---------------------------------------|---|----|-------|--|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月20日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9時・8分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 | <p>新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設について</p> <p>令和5年1月10日の産業廃棄物中間処理施設周辺環境調査測定結果が1号基準の東側17という指数が公表されている。前年1年間を視るに1号基準東側の10未満は年6回測定で1月・3月の2回、2号基準2次発酵槽用脱臭棟の12未満は3月の1回のみ、令和3年と比較し測定される臭気指数は悪化傾向と判断され、市民の暮らしに与える影響を鑑み以下伺う。</p> <p>(1) 臭気発散の悪化傾向は市長交代後から顕著なものとなっている。庁内で臭気発散抑止対策への方針は議論されているのか。</p> <p>(2) 産業廃棄物中間処理施設近隣施設から、製品搬出時に多量のハエが運送車両運転席に飛来する件は承知しているか。</p> <p>(3) 産業廃棄物中間処理施設への原料・製品等の搬入・搬出車両からの臭気発散苦情は承知されているか。</p> <p>(4) 11月1日八名地区市長意見交換会での質問に対する回答が実践されているか。</p> <p>(5) 市民の反応及び広報「ほのか」への記載は。</p> | | | |
| 2 | <p>市内観光施設等入込客について</p> <p>令和5年度予算大綱に『「どうする家康」の放送が始まりました。昨年来、徳川家康公ゆかりの地、長篠・設楽原戦いの地として、市内の各種関係団体の皆様を中心に地域の魅力の掘り起こしと発信に力を入れていただき、誘客に向けての機運を高めてまいりました。一略-大河ドラマの効果を一過性のものとせず、息の長い盛り上がりとなるよう市を挙げて取り組んでいく』と明言されております。</p> <p>この事から以下伺う。</p> | | | |

1(2/2)

- (1) 本市の観光地としての魅力。
- (2) 観光入込客数の動向(2021年)。
- (3) 年間観光入込客数の傾向(2021年)。
- (4) 本市の観光が抱える課題
- (5) 第2次新城市観光基本計画 前期アクションプランの進捗状況。
- (6) 愛知県観光レクリエーション利用者統計(2021年)に示された施設区分より温泉・健康施設の構成比7.6%(2,888千人のうち661千人)の結果をどのように捉えているか。

2(1/1)



発言通告書

令和 5年 2月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | | |
|---|--|----|-------|-------|------------|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月24日 | 午前/午後 | 午後 4時28分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | | |
| <p>1 本市のGIGAスクール構想の取組について</p> <p>令和4年度の教育方針説明において、パンデミック後の新たな教育の一步を踏み出す～共生による絆づくりから～として打ち出された、新城版「GIGAスクール」構想の取組の進捗について、以下伺う。</p> <p>(1) 令和4年度教育方針の進捗について</p> <p>ア 学習ソフトやデジタル環境の整備について</p> <p>イ 学校や家庭でのリモート学習、学校間の交流活動について</p> <p>ウ 小規模校のデメリットの解消と、他校との合同授業や遠隔学習について</p> <p>エ 不登校生のリモート学習について</p> <p>(2) ICTの進捗による教職員の業務負担の変化について</p> <p>2 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について</p> <p>帯状疱疹は、水疱瘡と同じウイルスで起こる皮膚の病気で、体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが上半身や顔面に現れ、夜も眠れないほどの激しい痛みを伴い、状態によっては角膜炎や顔面神経麻痺、難聴などの合併症を引き起こすこともあるとされる。この病気のワクチン接種について、以下伺う。</p> <p>(1) 本市の帯状疱疹患者の実態と、ワクチン接種の現状について</p> <p>(2) 帯状疱疹に対する予防法について</p> <p>(3) 帯状疱疹ワクチン接種の効用と、接種費用助成に対する本市の認識について</p> <p>3 森林経営管理制度について</p> <p>森林経営管理制度に基づく計画の進捗状況と、林業従事者確保の取組について伺う。</p> | | | | | |

5 (1/2)



発 言 通 告 書

令和 5年 2月 24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中 西 宏 彰

下記のとおり発言したいから通告します

| | | | | |
|--|--|----|-------|-------------|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月24日 | 午前/午後 4時55分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 旧新城東高等学校跡地について 旧新城東高等学校の跡地の利活用について、いよいよ決断される時期が迫っている。そこで以下伺う。 (1) 市民まちづくり集会における多くの市民意見、旧新城東高校活用検討会議からのご意見、市議会からの意見等、これまで様々な判断材料を集めてこられたが、それぞれをどのように捉えて咀嚼され、市長の最終決断に寄与するものであるのか伺う。 (2) 旧新城東高等学校跡地は新東名高速道路新城インターチェンジから至近の位置にあり経済流通、社会交流等様々な面からこの利活用は奥三河全体に大きな影響を及ぼすが、検討にあたって北設楽各町村と地域振興策に関する意見交換は行ったのか伺う。 (3) 市長の利活用に関する最終決断は何時、どのような形で行われるのか伺う。 (4) 県への決定報告は何時、どのような形で行われるのか伺う。 (5) 市民への決定報告の周知は何時、どのような形で行われるのか伺う。 | | | | |
| 2 第2次総合計画中期基本計画について (1) 定住人口政策の具体的な進め方について 平成17年10月1日、新市スタート時の人口は52,924人だが、本年2月1日現在、42,593人となっている。いよいよ40,000人割れが現実問題になっているが、第2次総合計画中期基本計画案においては、人口の見直しについて、定住人口の減少緩和によるゆっくりと着実にバランスのとれた年齢構成への転換を目指すとしている。そのために具体的にどのような裏付けをもって政策を進めようとしているのか伺う。 (2) パブリックコメント意見の計画への反映について | | | | |

3 (2/2)

パブリックコメントに寄せられた意見はどのようなものであったのか。またそれは計画の見直しにまで及ぶ内容であったのか伺う。



発言通告書

令和5年 2月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 柴田 賢治郎

下記のとおり発言したいから通告します

| | | | | |
|--|--|----|-------|-------------|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月24日 | 午前/午後 5時18分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| <p>1 どうする家康放映に伴う事業について</p> <p>テレビでは「どうする家康」の放送が始まっている。その時期に合わせた施策の状況を伺う。</p> <p>(1) 450年を主張するなら野田城の戦いから始めるべきかと思う、どの様な取り組みをし、その後の事業との連携が取れているのか。</p> <p>(2) 予算大綱の「故郷を誇りに思う気持ちを高めることができる様な仕掛け」とは。</p> <p>(3) ボランティアガイドは既にあり、ドラマ放送以前から民間の力で実施されている。行政主導の施策がどの様に展開されるか。</p> <p>2 観光施策について</p> <p>「どうする家康」を含め、市内観光資源の使い方として以下伺う。</p> <p>(1) フィルムコミッションの他市との比較、また本市の展開は。</p> <p>(2) 旧鳳来町の「まちごと屋根の無い博物館事業」の令和版が考えられないか。</p> <p>(3) 引き続き、世界ラリー選手権日本ラウンドの開催地としての取り組みとは。</p> <p>(4) ツーリズムにおける体験型アクティビティをどの様に整えていくのか。</p> <p>3 本市に必要な少子化対策について</p> <p>先の若者議会との会合の中で「プレコンセプションケア」という言葉を教わった。そのやり取りの中で新城の若者は市に健全な子ども育成環境について話し合う機会が少ないと感じられたが以下伺う。</p> <p>(1) 本市に必要なプレコンセプションケア事業がどの様なものとするか。</p> <p>(2) 国会では、所得税の「n分n乗方式」について議論されている。その様に税制にまで組み込んだ施策が議論されているのか。</p> | | | | |

5 (1/1)



発言通告書

令和 5年 2月 27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 竹 下 修 平

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|--|---|----|-------|--|
| 所要時間 | 40分 | 受付 | 2月27日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 8時39分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・ <input type="radio"/> 本会議質疑・ <input type="radio"/> 委員会質疑・ <input type="radio"/> 討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 太陽光発電設備の設置について | | | | |
| (1) 直近5年間における市が把握している年度毎の太陽光発電設備の設置状況は。 | | | | |
| (2) 近年の太陽光発電設備の設置状況に対する市の見解と今後の見通しは。 | | | | |
| (3) 直近5年間における「新城市太陽光発電設備の設置に関する指導要綱」の遵守状況と、トラブルや所管課への問い合わせの発生状況は。 | | | | |
| (4) 市ホームページに「不適切案件等に関するお問い合わせ」として記載のある中部再エネ発電設備地域サポート窓口 (通称: FiCCS (フィックス)) に対する新城市民からの問い合わせ状況は。 | | | | |
| (5) 「新城市太陽光発電設備の設置に関する指導要綱」の改正履歴、その内容と趣旨は。 | | | | |
| (6) 本市において太陽光発電設備の設置に関する規制を定めるような条例を制定する必要性について、市の認識は。 | | | | |

6 (1/1)



発 言 通 告 書

令和 5年 2月 27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 達 雄

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---------------------------------------|--|----|-------|-------------|
| 所要時間 | 50分 | 受付 | 2月27日 | 午前/午後 9時05分 |
| 発言の種類 | 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 | 公共交通施策の進捗について 新城市地域公共交通計画に掲げた公共交通施策のうち重点施策、先行施策それぞれにつき進捗状況を伺う。 | | | |
| 2 | 鳳来総合支所跡地の活用について (1) 新城市鳳来総合支所周辺総合開発計画策定委員会から提出された鳳来総合支所跡地活用に関する答申内容について伺う。 (2) 答申を受け、跡地活用への今後の方針、進め方を伺う。 | | | |
| 3 | 新庁舎竣工後5年の検証について 新しい本庁舎と既存東庁舎の2棟式庁舎として供用開始から約5年が経過した。1棟集約か東庁舎を残すかの議論を経ての2棟式庁舎である。以下伺う。 (1) 新庁舎建設関連事業費は如何ほどだったか。新庁舎建設工事、駐車場等その他工事、東庁舎改修工事に分けあらためて確認する。 (2) 1棟集約庁舎と実際の比較は出来ないが、現2棟式庁舎について、市民サービス、効率、安全、維持管理費等についての評価を伺う。 (3) 平成29年3月に策定した新城市公共施設等総合管理計画の観点から、新庁舎建設事業の評価を伺う。 | | | |

7(1/1)



発 言 通 告 書

令和 5 年 2 月 2 7 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 村田 康助

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|--|--|----|-------|---|
| 所要時間 | 40 分 | 受付 | 2月27日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9 時 13 分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 国土強靱化計画について 新城市地域強靱化計画における防災・減災のための5か年加速化対策の成果及び課題について伺う。 (1) 国道151バイパス豊川・新城線。 (2) 豊橋・乗本線・有海バイパス。 (3) 作手・守義・設楽・県道35号線。 (4) 三遠南信自動車道・愛知区間。 (5) 豊川総合用水事業。 (6) ため池・堤防事業。 | | | | |

8 (1/1)



発 言 通 告 書

令和 5年 2月27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 丸 山 隆 弘

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---|--|----|-------|--|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月27日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9時15分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 名号温泉施設等のプロポーザル募集結果について 審査結果内容・評価、今後の市のスケジュール及び取組を伺う。 | | | | |
| 2 鳳来総合支所跡地活用について 市長から委嘱を受けている新城市鳳来総合支所周辺地域総合開発計画策定委員会は、2月21日に支所の跡地活用について市長に答申された。商業施設誘致、市民・観光客が集う場所の整備を求める内容となっている。今後の取組を伺う。 | | | | |
| 3 教育行政について (1) 教育長の新年度の教育方針として、前教育長から引継がれた取組を伺う。 (2) 昨年12月定例会一般質問に引続き、鳳来東小学校と鳳来寺小学校の特認校制度導入後の現状と課題及び今後の方針を伺う。 (3) 教育長として必要なリーダーシップ及びマネジメント力について伺う。 (4) 教育委員会の独立性と教育長の決裁権について伺う。 (5) 児童・生徒のいじめ問題や不登校問題などの早期発見と早期解決が望まれる。認識と対策を伺う。 (6) 有機(オーガニック)農産物及び地域農産物の学校給食導入について伺う。 (7) 給食費の保護者負担軽減について伺う。 | | | | |
| 4 がんの早期発見と治療を促す取組について (1) がん検診項目の追加について伺う。 (2) 各種健康診査における血液検査の活用について伺う。 (3) オプション検査の負担軽減策を伺う。 | | | | |

9 (1/1)



発 言 通 告 書

令和 5年 2月 27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山 田 辰 也

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---|--|----|-------|--|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月27日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9時23分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 新城名古屋藤が丘線高速乗合バス「山の湊号」の運行事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の乗車人数と利用状況。 (2) 「しんしろ山の湊市」の開催状況と今後の計画。 (3) ジブリパークの開園に伴う高速バス利用状況。 | | | | |
| 2 新城インターチェンジ周辺整備事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新城インター企業団地1期事業の成果。 (2) 新城インター企業団地2期事業の計画内容。 (3) 鈴木養鶏場跡地の利用計画。 | | | | |
| 3 本市における太陽光発電の現状について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の屋根貸し事業の状況。 (2) 太陽光発電業者と地域との問題。 | | | | |
| 4 学校給食共同調理場整備事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の進捗状況と市民への説明責任。 (2) 配送の計画。 (3) 地産地消の推進計画。 | | | | |
| 5 働き方改革の取り組みについて 現在の状況と進めるうえでの課題は。 | | | | |

10 (1/2)



発言通告書

令和 5年 2月27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 今 泉 吉 孝

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | |
|--|--------------------------------|----|-------------------|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月27日 (午前)午後9時29分 |
| 発言の種類 | 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入) | | |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | |
| 1 本市の自殺対策計画について 先日「有志議員によるゲートキーパー養成講座」を議員対象に開いた。本市では子どもたちに平成28年度から、いじめ対策事業で新城市いじめ対策人権問題調査委員会や、新城市いじめ対策人権サポート委員会などが稼働しているが、残念ながら昨年、一昨年と10代の自死があった。この状況から以下伺う。 (1) 本市では児童生徒に限らず、成人の自死についてもどのように認識し、どう努力されているのか伺う。 (2) 市としてどこまで寄り添って行われているか。 | | | |
| 2 手話言語について (1) 手話奉仕員の登録証について昨年6月定例会で一般質問した、手話奉仕員の登録証のその後はどうなっているのか伺う。 (2) 手話ができる職員の育成について以前、聴覚障害をお持ちの方が来庁した時の職員の対応を一般質問したが、それ以降、手話ができる職員を増やすような対策はなされているか。 (3) 手話言語条例について昨年3月と12月定例会で一般質問したが、その後、進展はあるか伺う。 | | | |
| 3 市民の貧困状況について (1) 生活保護受給者の最新の人数を伺う。 (2) コロナ禍前でも子どもの貧困層が17.4%だったのに新型コロナウイルス感染症による経済的打撃で貧困率はさらに上がっていると思われるが、本市としてコロナ禍における貧困状況を把握する必要があると思うが、その認識はあるか。 | | | |

10 (2/2)

(3) 高齢者の最低年金受給者が2,947人ということだったが、65歳以上の人数が本年2月1日現在で16,122人なので約5人に1人が最低年金受給者である。これを受け高齢者の貧困状況も調査するべきだと思うが認識を伺う。

(4) 子ども食堂の現状を伺う。

4 学校における家庭の負担について

昨年3月定例会でも質問したが、地域の方々やPTA会費で教育費の不足分を補うようなことが起きている。ガラスの修繕費は故意に破損した場合を除き、市が支払うことになっていたが、その後徹底されていたか伺う。

5 学校給食共同調理場について

(1) 現在稼働している給食室は問題なく健全に運営されているか伺う。

(2) 以前、給食室を修繕した場合の金額が提示されているが、算出されたものはハサップなどの条件がそろわないときのもので、市民説明においても新たに算出する必要があると思うが、市の認識を伺う。

6 水道料金について

水道代が東三河で1番高い市になってしまうが、ライフラインでもある水道料金が上がったことで、市におけるデメリットはないか伺う。

7 都市計画について

市街化区域と市街化調整区域の線引きを変更することはできないか。また、何か講じる策はあるか伺う。

8 野田城址について

いよいよ本年は、野田城の戦いから450年になったが、市として何か盛り上げていくような施策はあるか伺う。

9 本市の文化、観光について

(1) 市に残されている写真が以前質問をしてから半年たったが現在の状況を伺う。

(2) 令和3年12月定例会の一般質問においてQRコードのシールを貼り、動きのある観光案内ができ、いつでも面白く観光地めぐりができる案を提案したが、その後の現状を伺う。

(3) 最近ではテレビでも昭和レトロが普通に取り上げられている。本市でも昭和の魅力は数々あると思うが「どうする家康」の集客にあわせて、昭和レトロも観光として盛り上げていったらどうかと思うが市の認識を伺う。

“(1/1)”



発 言 通 告 書

令和 5年 2月 27日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 滝 川 健 司

下記のとおり発言したいから通告します。

| | | | | |
|---------------------------------------|--|----|-------|--|
| 所要時間 | 60分 | 受付 | 2月27日 | <input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9時46分 |
| 発言の種類 | <input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 | | | (該当に○印を記入) |
| 発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) | | | | |
| 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。) | | | | |
| 1 | <p>令和5年度新城市教育方針について</p> <p>2月22日に開催された総合教育会議にて示された「令和5年度新城市教育方針」における3つの基本方針、「1教師の授業力向上」「2よく遊びよく学べ」「3子供の輝きは大人の輝きから」について、基本的考えとその取り組みについて伺う。</p> | | | |
| 2 | <p>新城市民病院の再整備の方向性について</p> <p>新城市民病院の病院再整備に向けたあり方検討において、愛知県地域医療構想における市民病院の位置づけと、令和5年度に策定予定の公立病院経営強化プランを考慮した再整備の方向性について伺う。</p> | | | |
| 3 | <p>企業用地開発について</p> <p>本年度策定中の新城インターチェンジ周辺企業用地等開発推進事業の基本計画の概要について伺うと共に、豊橋新城スマートインターチェンジ周辺での企業用地開発、有海緑地公園の企業用地化について伺う。</p> | | | |
| 4 | <p>木質バイオマス発電について</p> <p>現在市内で計画されている民間の木質バイオマス発電事業の概要と、市内地域森林産業等へ与える影響、「新城市再生可能エネルギー導入の促進に関する基本的な方針」に基づく連携・支援できることについて伺う。</p> | | | |